

令和6年度 第2期中心市街地活性化つながるまちづくりプラン
(盛岡市中心市街地活性化基本計画) のフォローアップに関する報告

令和7年11月
盛岡市

○計画期間：令和5年度～令和9年度（5年）

I. 令和6年度実施事業の評価

1. 令和6年度末時点（令和7年3月31日時点）における事業の実施状況

「第1期中心市街地活性化つながるまちづくりプラン」の計画期間が終了したことを受け、令和5年7月に「第2期中心市街地活性化つながるまちづくりプラン」を策定し、次の4つの方針のもと、各種事業を実施した。

- ・基本方針1 商店街等の魅力・経営力の強化による地域経済の活性化
 - a 商店街、商業施設などを中心とした賑わい創出
 - b 商店街等の魅力や、地域事業者の経営力の強化に対する支援 （2～3ページ）
- ・基本方針2 暮らしや便利さを支える拠点機能・住環境の充実
 - c 都市機能の中核を担う拠点施設等の充実
 - d 道路整備などによる住環境の充実 （4～5ページ）
- ・基本方針3 中心市街地区域内外の回遊性の向上
 - e 中心市街地区域内外をつなぐ仕組みづくり
 - f 公共交通、徒歩・自転車で移動しやすい環境の整備 （6～8ページ）
- ・基本方針4 タウンマネジメント機能の強化
 - g タウンマネジメント機能の強化 （9ページ）

各基本方針の「重点事業の進捗状況」及び「事業進捗一覧」等は次ページ以降の通り

(1) 基本方針 1 商店街等の魅力・経営力の強化による地域経済の活性化

【重点事業の進捗状況】

a 商店街、商業施設などを中心とした賑わい創出

(i) 市（いち）の開催

(進捗評価：A 計画通り実施)

事業完了時期	令和9年度【実施中】	担当課	経済企画課
事業概要	材木町・盛岡駅周辺地区・八幡界限・紺屋町などで、山菜・魚介類・花卉・アンティーク・クラフトなどの市を開催する。		
事業効果及び進捗状況	令和6年度は、コロナ禍以前の賑わいを取り戻すべく各実施主体にて取組を開催することができ、中心市街地の賑わい作りに寄与することができた。 (令和6年度実績) 材木町よ市：4月～11月の毎週土曜日 北の民謡市場：毎週水曜日・金曜日 紺屋町アンチック市：4月～11月の第3日曜日 八幡ぽんぽこ市：5/12、6/30、8/18、10/6		

(ii) 2023年に行くべき盛岡プロモーション・受入態勢整備事業

(進捗評価：A 計画通り実施)

事業完了時期	令和9年度【実施中】	担当課	観光課
事業概要	令和5年(2023年)1月、ニューヨークタイムズ紙の「2023年に行くべき52カ所」に本市が選出されたことから、国内外からの観光客増加に対応するため、受入態勢の整備に努め、中心市街地への集客につなげる。		
事業効果及び進捗状況	盛岡駅北口への臨時観光案内所の設置や街なかさんさ実施、外国語版観光ガイドマップの作成、海外へのプロモーションなどにより中心市街地への誘客を図った。		

b 商店街等の魅力や地域事業者の経営力の強化に対する支援

(i) 商店街振興事業（イベント開催等の費用を補助）

(進捗評価：A 計画通り実施)

事業完了時期	令和9年度【実施中】	担当課	経済企画課
事業概要	商店街等が主催するイベント等に対し、盛岡市商店街連合会を通じ盛岡市がその経費の一部を補助する。		
事業効果及び進捗状況	令和6年度は、8団体（うち中心市街地エリア4団体）に補助を実施し、商店街の賑わい作りや地域コミュニティとしての商店街機能の維持を図った。 ○盛岡市肴町商店街（振）「盛岡七夕まつり」 ○国分通商店会「国分通商店会 夏祭り」 ○緑が丘・黒石野商工業会「一里塚まつり」 ○盛岡駅東口振興会「盛岡駅前 開運！のみあるき」 ○もりおか八幡界限まちづくりの会「八幡ぽんぽこ市」 ○盛岡市上田商店街（協）「上田夏祭り」 ○西青山商工振興会「にしあおやま夏祭り」 ○盛岡大通商店街（協）「まちなかクラフトフェス」		

(ii) 中心市街地活性化支援事業

事業完了時期	令和5年度【完了・終了】	担当課	経済企画課
事業概要	中心市街地における商店街や地域の事業者、新たに事業に取り組む者を支援し、消費喚起に資するイベント開催や、中心市街地の各エリア間の回遊性を促進したもの。		
事業効果及び進捗状況	令和5年度に、盛岡まちづくり株式会社を通じて12の事業に対し補助を行い、市内の消費喚起と回遊性向上を促進した。		

	【補助事業】 (1) 肴町商店街テーマソング制作事業 (2) 肴町商店街盛り上げプロジェクト (3) 肴町商店街年末大抽選会事業 (4) 情報紙「ザ・ホットライン特別号」制作事業 (5) フリーペーパー店舗紹介「みてきて肴町商店街！！」制作事業 (6) まちなかクラフトフェス (7) 盛岡駅前開運ホコ天事業 (8) 盛岡市材木町「よ市」50周年記念イベントを中心にした材木町商店街活性化事業 (9) もりおか街裏MAP (10) 盛岡台湾Happyフェス&ウィーク事業 (11) 盛岡駅前開運笑店街2024事業 (12) 商店街イベント等人流分析事業
--	---

【事業進捗状況一覧】

事業形態	事業数	完了・終了	実施事業			検討事業	
			計画通り実施	概ね計画通り実施	計画通りに進捗していない	未着手 (実施期間中)	実施期間前
			A	B	C	D	E
ソフト事業	35	2 (5.7%)	26 (74.3%)	6 (17.1%)	0 (0.0%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)
ソフト事業・施設整備事業	1	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
計	36	2 (5.6%)	26 (72.1%)	6 (16.7%)	0 (0.0%)	1 (2.8%)	1 (2.8%)

(参考) 検討事業

事業区分	事業名	備考
a-24	まちなかウォークアブル推進事業 (担当課: まちなか未来創生室)	令和8年度から交付金を活用して事業を実施できるよう関係機関等と調整中。
b-7	街なか出店等促進事業 (空き店舗への出店等の費用を補助) (担当課: 経済企画課)	空き店舗への新規出店等に係る費用等の補助事業を想定。財源の確保とともに、効果的な実施に向けた事業手法の検討を進める。

■基本方針1に係る事業の進捗評価

依然として物価高騰等の影響が懸念される状況にあるものの、「計画通り実施」となった事業が多く、イベントが積極的に開催されたことから、地域の賑わい創出につながった。

■今後の対策

今後もこれらの取組を継続的に支援するとともに、商店街等のニーズ把握を随時行い、情報発信事業や魅力向上に資する研修会の開催を補助することで、商店街等に所在する事業者の経営力向上を図り、地域経済の活性化を推進していく。また、令和5年1月に盛岡市がニューヨーク・タイムズ紙で紹介されたことによるインバウンド効果が一過性にとどまらないよう、継続的な取組を検討・実施するとともに、海外向けプロモーションや受入態勢の整備を引き続き進め、中心市街地内外への波及効果を図りながら、地域経済を活性化させていく。

(2) 基本方針2 暮らしや便利さを支える拠点機能・住環境の充実

【重点事業の進捗状況】

c 都市機能の中核を担う拠点施設等の充実

(i) 2023年に行くべき盛岡プロモーション・受入態勢整備事業（再掲）

（進捗評価：A 計画通り実施）

事業完了時期	令和9年度【実施中】	担当課	観光課
事業概要	令和5年(2023年)1月、ニューヨークタイムズ紙の「2023年に行くべき52カ所」に本市が選出されたことから、国内外からの観光客増加に対応するため、受入態勢の整備に努め、中心市街地への集客につなげる。		
事業効果及び進捗状況	盛岡駅北口への臨時観光案内所の設置や街なかさんさ実施、外国語版観光ガイドマップの作成。海外へのプロモーションなど中心市街地への誘客を図った。		

(ii) 内丸地区再整備事業（（仮称）内丸プラン作成業務）

（進捗評価：C 計画通りに進捗していない）

事業完了時期	令和9年度【実施中】	担当課	都市計画課
事業概要	令和4年(2022年)3月策定の「内丸地区将来ビジョン」の実現のため、内丸地区の一体的な再整備の方向性等を取りまとめる（仮称）内丸プランの作成に向けた検討業務を実施する。		
事業効果及び進捗状況	令和6年度においては、基本方針（素案）の検討や、検討学識会議の会議、関係機関との個別協議を行い、「内丸地区将来ビジョン」の検討を推進した。		

(iii) 盛岡バスセンター周辺地区公民連携まちづくり勉強会

事業完了時期	令和6年度【完了・終了】	担当課	まちなか未来創生室
事業概要	河南地区の住民や河南地区に係る事業者等と連携し、地域資源を活用した公民連携まちづくりを進めるための勉強会を実施する。		
事業効果及び進捗状況	令和5年度のまちづくり勉強会の結果に基づき、株式会社岩手銀行が所有する「いわぎんリース駐車場（中ノ橋通一丁目1）」において、人工芝及びテント、木製テーブル、イス等を配置した無料の広場を7月下旬から3か月程度開設する社会実験を業務委託により実施、期間中は複数の催事が行われたほか、催事以外でも主に近隣住民の憩いの場として活用された。		

(iv) 中ノ橋通一丁目地区市街地再開発事業

（進捗評価：B 概ね計画通り実施）

事業完了時期	令和9年度（実施中）	担当課	まちなか未来創生室
事業概要	事業実施地区を西街区と東街区に分け、西街区には商業・業務施設を、東街区には共同住宅等を整備する。また、災害時において機動的に動けるよう、必要な物資の備蓄を行う。		
事業効果及び進捗状況	令和6年度においては、建築設計（工事監理）、権利変換計画作成（登記）、解体工事（除却・整地）、補償、建築工事（施設整備）の一部を補助し、開発事業を推進した。		

d 道路整備などによる住環境の充実

(i) ひとにやさしいみちづくり事業

(進捗評価：B 概ね計画通り実施)

事業完了時期	令和9年度【実施中】	担当課	道路管理課
事業概要	中心市街地を中心として、橋梁や既存の融雪区間と連続するように歩道への融雪施設を整備し、安全な冬季歩行者空間の確保により、中心市街地の暮らしやすさにつなげる。		
事業効果及び進捗状況	令和6年度においては本事業をより効果的なものとし、他の関連事業との連携を図るため、工事の発注時期について適切な時期の検討を行った。		

【事業進捗状況一覧】

事業形態	事業数	完了・終了	実施事業			検討事業	
			計画通り実施	概ね計画通り実施	計画通りに進捗していない	未着手 (実施期間中)	実施期間前
			A	B	C	D	E
ソフト事業	12	1 (8.3%)	5 (41.7%)	5 (41.7%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
施設整備事業	11	1 (9.1%)	1 (9.1%)	4 (36.4%)	3 (27.2%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)
計	23	2 (8.7%)	6 (26.1%)	9 (39.2%)	4 (17.4%)	1 (4.3%)	1 (4.3%)

(参考)検討事業

事業区分	事業名	備考
c-11	お城を中心としたまちづくり事業(歴史的風致維持向上計画) (担当課:公園みどり課)	鶴ヶ池、亀ヶ池環境整備事業。 令和8年度から実施予定。
c-18	肴町地区優良再開発型優良建築物等整備事業(全体事業費の一部を補助) (担当課:まちなか未来創生室)	令和6年度においては、令和7年度から事業実施に向け、認定事務作業等をおこなったもの。

■基本方針2に係る事業の進捗評価

「概ね計画通り実施」となった事業が多かったものの、「計画通り実施」となった事業もあり、拠点機能や住環境整備につなげることができた。

■今後の対策

中心市街地の再整備事業や安全な歩行者空間の整備など、市街の居住利便性の向上につながる事業を着実に実施するとともに、住みやすいまちを構築する取組を継続していくことにより、都市機能が充実したコンパクトで魅力ある中心市街地の形成を図る。

また、盛岡バスセンターやmonakaの整備が完了したことで、今後はこれらの公共交通拠点や商業施設を起点とした賑わい創出や、これらの拠点と中心市街地内外の商店街等をつなぐ取組を検討し、まちの魅力を向上させていく。

(3) 基本方針3 中心市街地区域内外の回遊性の向上

【重点事業の進捗状況】

e 中心市街地区域内外をつなぐ仕組みづくり

(i) MORIO Pay活用事業

(進捗評価：B 概ね計画通り実施)

事業完了時期	令和9年度【実施中】	担当課	経済企画課
事業概要	盛岡地域独自の電子決済サービスである「MORIO Pay」を活用した各種事業を実施し、商店街のキャッシュレス化等、商店街の近代化や、新しい生活様式に対応した消費喚起策の実施により、地域内の経済循環を図りつつ、各種事業との連携を行い、市民アプリとしての機能を強化する。		
事業効果及び進捗状況	他課の事業と継続して連携したものの、市民アプリとしての機能強化まで至っていないことから、盛岡市デジタル化によるまちづくり推進ワーキンググループ等を通してプラットフォーム化の検討を推進していく。		

(ii) 中心市街地活性化支援事業【再掲】

事業完了時期	令和5年度【完了・終了】	担当課	経済企画課
事業概要	中心市街地における商店街や地域の事業者、新たに事業に取り組む者を支援し、消費喚起に資するイベント開催や、中心市街地の各エリア間の回遊性を促進したもの。		
事業効果及び進捗状況	令和5年度に、盛岡まちづくり株式会社を通じて12の事業に対し補助を行い、市内の消費喚起と回遊性向上を促進した。 【補助事業】 (1) 肴町商店街テーマソング制作事業 (2) 肴町商店街盛り上げプロジェクト (3) 肴町商店街年末大抽選会事業 (4) 情報紙「ザ・ホットライン特別号」制作事業 (5) フリーペーパー店舗紹介「みてきて肴町商店街!!」制作事業 (6) まちなかクラフトフェス (7) 盛岡駅前開運ホコ天事業 (8) 盛岡市材木町「よ市」50周年記念イベントを中心にした材木町商店街活性化事業 (9) もりおか街裏MAP (10) 盛岡台湾Happyフェス&ウィーク事業 (11) 盛岡駅前開運笑店街2024事業 (12) 商店街イベント等人流分析事業		

(iii) もりおか街なかイルミネーション事業

(進捗評価：A 計画通り実施)

事業完了時期	令和9年度【実施中】	担当課	観光課
事業概要	地域経済の回復に向けた消費喚起につなげるため、観光客入込数が減少する冬季間の新たな誘客促進施策として、中心市街地において「街なかイルミネーション」イベントを開催する。		
事業効果及び進捗状況	令和6年度は、令和6年11月29日から令和7年2月15日まで、盛岡市内に明かりを灯すもりおかイルミネーションブライトを開催し、市内中心市街地の活性化を図った。		

f 公共交通、徒歩・自転車で移動しやすい環境の整備

(i) 自転車走行空間整備事業

(進捗評価：B 概ね計画通り実施)

事業完了時期	令和9年度【実施中】	担当課	交通政策課
事業概要	自転車利用者が安心して走行できる空間を整備する。また、整備によって自転車の利用促進を図り、市内外の来街者の増加を目指す。		
事業効果及び進捗状況	令和6年度は、盛岡駅前通、大沢川原、菜園及び内丸等において、自転車走行空間の整備（矢羽根等の路面標示）を行い、自転車を利用しやすい環境づくりに取り組んだ。		

(ii) まちなか・おでかけパス事業

(進捗評価：A 計画通り実施)

事業完了時期	令和9年度【実施中】	担当課	交通政策課
事業概要	70歳以上の市民がバス・鉄道を割引で利用できるバス・切符を発行し、公共交通の利用促進と高齢者への生活経済対策を目的として実施し、訪れやすい中心市街地の形成を目指す。		
事業効果及び進捗状況	交通事業者による「まちなか・おでかけパスと「列車でおでかけきっぷ」の販売に対する補助を行い、公共交通の利用促進と中心市街地の活性化を図った。		

(iii) 盛岡バスセンター周辺地区公民連携まちづくり勉強会【再掲】

事業完了時期	令和6年度【完了・終了】	担当課	まちなか未来創生室
事業概要	河南地区の住民や河南地区に係る事業者等と連携し、地域資源を活用した公民連携まちづくりを進めるための勉強会を実施する。		
事業効果及び進捗状況	令和5年度のまちづくり勉強会の結果に基づき、株式会社岩手銀行が所有する「いわぎんリース駐車場（中ノ橋通一丁目1）」において、人工芝及びテント、木製テーブル、イス等を配置した無料の広場を7月下旬から3か月程度開設する社会実験を業務委託により実施、期間中は複数の催事が行われたほか、催事以外でも主に近隣住民の憩いの場として活用された。		

【事業進捗状況一覧】

事業形態	事業数	完了・終了	実施事業			検討事業	
			計画通り実施	概ね計画通り実施	計画通りに進捗していない	未着手（実施期間中）	実施期間前
			A	B	C	D	E
ソフト事業	16	1 (6.2%)	9 (56.3%)	3 (18.8%)	2 (12.5%)	1 (6.2%)	0 (0.0%)
施設整備事業	4	1 (25.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
計	20	2 (10.0%)	10 (50.0%)	5 (25.0%)	2 (10.0%)	1 (5.0%)	0 (0.0%)

(参考) 検討事業

事業区分	事業名	備考
e-6	商業・サービス業魅力発信事業 (担当課:経済企画課)	中心市街地の各商店街等の魅力発信事業を想定。財源の確保とともに、効果的な実施に向けた事業手法の検討を進める。

■基本方針３に係る事業の進捗評価

「計画通り実施」及び「概ね計画通り実施」となった事業が多く、ソフト・ハードの両面で中心市街地区域内外の回遊性向上につなげた。

■今後の対策

MORIO Payを活用した仕掛けづくりのほか、盛岡の街なかを歩きたくなるようなイベントや取組の検討を行い、魅力ある取組を進めるほか、徒歩・自転車で移動しやすい環境の整備や公共交通の利用促進等により、中心市街地内外の相互誘客を図り、回遊性を向上させていく。

(4) 基本方針 4 タウンマネジメント機能の強化

【重点事業の進捗状況】

g タウンマネジメント機能の強化

(i) AIを活用した人流・交通解析システム運営事業

(進捗評価：A 計画通り実施)

事業完了時期	令和9年度【実施中】	担当課	経済企画課
事業概要	盛岡市のタウンマネジメント機関である盛岡まちづくり株式会社が運用する人流分析システム及び人流データの活用により各種イベント支援を行う。 官民連携の推進やデータ活用により、タウンマネジメント機能の強化を図る。		
事業効果及び進捗状況	中心市街地13地点で定点観測を行い、イベント支援のための定量的基礎データを計測したことから、次年度以降の分析、事業活用に繋げた。		

(ii) 地域おこし協力隊等活用事業

(進捗評価：A 計画通り実施)

事業完了時期	令和9年度【実施中】	担当課	経済企画課
事業概要	盛岡市のタウンマネジメント機関である盛岡まちづくり株式会社が地域おこし協力隊や、地域活性化企業人等の制度を活用し、三大都市圏で活躍する人材等を配置する。 官民連携の推進やデータの利活用により、盛岡まちづくり株式会社のタウンマネジメント機能の強化を図る。		
事業効果及び進捗状況	地域おこし協力隊が商店街で行われるイベントに参加し、中心市街地の状況把握、人的ネットワークの構築を図った。また、令和7年度からの地域活性化起業人の任用に向け、関係機関との調整を行った。		

【事業進捗状況一覧】

事業形態	事業数	完了・終了	実施事業			検討事業	
			計画通り実施	概ね計画通り実施	計画通りに進捗していない	未着手 (実施期間中)	実施期間前
			A	B	C	D	E
ソフト事業	3	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
計	3	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

■基本方針4に係る事業の進捗評価

計画通り事業を実施することができ、タウンマネジメント機能の強化を図った。

■今後の対策

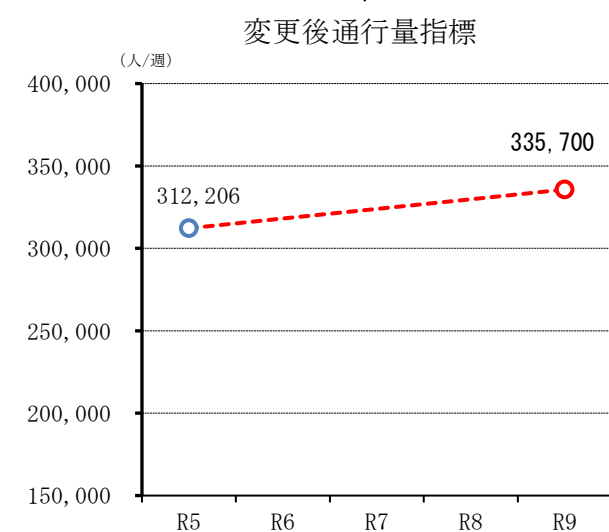
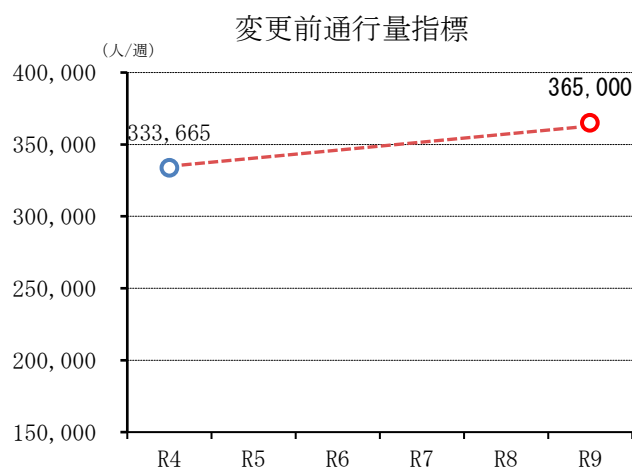
令和5年度および令和6年度において人流データの蓄積が進んだことにより、前年度との比較が可能となった。しかしながら、現在のデータは人流の増減傾向を把握するにとどまっており、「来街地（市内外）の別」、「来街目的」などの詳細な分析に至っていない状況にある。

そのため、今後は交通事業者や観光関係部署との綿密な情報交換を行うなど連携体制を強化するとともに地域活性化起業人の知見を活かしながら、現状分析や施策の検討を行っていく。

Ⅱ. 指標の基準値及び目標値の修正について

第2期中心市街地活性化つながるまちづくりプランにおいて設定している指標のうち、「中心市街地の通行量」の目標値については、AI カメラ導入初期である令和5年3月25日から4月28日までの一週間ごとの人・自転車の通行量（計測時間9時～18時）の平均値を基準として設定していたが、当該期間は年間のうち、比較的通行量が多い時期であり、年を通じての基準値としては過大であることが、令和6年度のフォローアップの時点で判明した。

このため、より実態に即した目標管理を行うべく、令和5年度の通行量実績（312,206人／週）を新たな基準値とし、これに対し当初設定していた増加率（5年で9.4%）と同等の増加率を維持した上で、令和9年度の目標値を335,700人／週（4年で7.52%の増）とするよう見直しを行う。



R4 の推計値をベースに
5年で9.4%の増

R5 の実績値をベースに
4年で7.52%の増

Ⅲ. 目標指数の推移と現状分析

1. 中心市街地の通行量

目標指標	基準値 (R5.4.1～ R6.3.31)	目標値 (R9)	現状値 (R6.4.1～ R7.3.31)	現状値の状況	今後の見通し
中心市街地の通行量／週 (歩行者・自転車)	312,206人	335,700人	298,635 人	C	②

<基準値に対する現状>

A：目標値以上、B：基準値以上目標値未満、C：基準値未満

<今後の見通しの分類>

- ①目標達成可能であると見込まれる。
- ②目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③目標達成しているが、引き続き最大限努力していく。

(推移と分析)

令和6年度における中心市街地の通行量（一週間平均）は、298,635人（前年度比95.65%、13,571人減）となった。指標に用いた下表の5地点のみの結果では、中心市街地全体の動向を判定することが難しかったので、定点観測を行っている13地点において、令和5年度及び令和6年度の歩行者のみの通行量を比較したところ、以下の調査結果となった。

分類	エリア	該当地点（対前年度比）	傾向
通行量 減少エリア	盛岡駅～ 大通周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・盛岡駅東口(89.44%) ・盛岡駅西口(92.80%) ・開運橋西側(99.61%) ・旭橋東側(90.69%) ・大通三丁目(91.30%) ・映画館通(菜園通付近)(88.90%) ・大通(映画館通付近)(94.43%) ・中央通(映画館通付近)(93.57%) ・大通(亀が池周辺)(84.48%) 	通行量は令和5年度に比べ概ね5～10%減少しており、最大15%以上減少している地点もある。
通行量 増加エリア	盛岡市役所前～ 河南地区方面	<ul style="list-style-type: none"> ・盛岡市役所前(132.11%) ・肴町商店街入口(121.73%) ・肴町商店街内(107.59%) ・盛岡八幡宮通り(102.35%) 	通行量は令和5年度に比べ増加しており、最大30%以上増加している地点もある。

この結果から、盛岡駅エリアから菜園・中央通・大通エリアにかけての地点では、歩行者の通行量が減少しており、一方で盛岡市役所エリアから八幡町エリアにかけての河南方面では増加が見られた。通行量が減少しているエリアにおける要因は特定できていないものの、増加したエリアにおいてはmonakaの開業の影響があるものとみられる。

また、月別にデータを集計したところ、4月および6月～9月（イベントが多い時

期)については、令和5年度比で上回っていたが、それ以外の月では下回っていた。

ただし、これらの分析はあくまでも数値比較にとどまっており、前述のとおり、通行者の「来街地(市内外)の別」や「来街目的」等による属性区分が行われていないため、どの層を盛岡のまちなかに誘引すべきかという視点に基づいたアプローチが困難な状況である。

今後については引き続き、通行量増加を目的とした分析のため、庁内における連携体制の強化に加え、交通関係事業者や観光関係部署との綿密な連携体制についても検討を進めることで、より実効的な施策の企画立案を進めていく必要がある。

また、令和7年度以降の取組においては、実施事業が効果的な集客や来街者の回遊性向上につながるよう、商店街イベント等のソフト事業の内容を工夫するとともに、大型商業施設を起点とした周辺への回遊を誘導するような取組を検討する。また、中心市街地への訪れやすさを高めるための環境整備等も併せて推進していく必要がある。

2. 中心市街地の居住人口について

目標指標	基準値 (R4.9)	目標値 (R9)	現状値 (R6.9)	現状値の状況	今後の見通し
中心市街地の 居住人口	13,039人	13,100人	13,095 人	B	①

<基準値に対する現状>

A：目標値以上、B：基準値以上目標値未満、C：基準値未満

<今後の見通しの分類>

- ①目標達成可能であると見込まれる。
- ②目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③目標達成しているが、引き続き最大限努力していく。

(推移と分析)

No.	町 名	住民基本台帳人口		増 減		
		R5.9	R6.9	R6-R5	R6/R5	
1	中ノ橋通一丁目	579 人	664 人	85 人	114.7%	人口増 (8)
2	盛岡駅前北通	1,168 人	1,193 人	25 人	102.1%	
3	中央通三丁目	1,502 人	1,524 人	22 人	101.5%	
4	材木町	896 人	914 人	18 人	102.0%	
5	大沢川原二丁目	539 人	555 人	16 人	103.0%	
6	中ノ橋通二丁目	404 人	420 人	16 人	104.0%	
7	大沢川原一丁目	151 人	159 人	8 人	105.3%	
8	内丸	188 人	190 人	2 人	101.1%	
9	大通一丁目	47 人	47 人	0 人	100.0%	±0 (1)
10	大通二丁目	37 人	36 人	-1 人	97.3%	人口減 (14)
11	神明町	594 人	592 人	-2 人	99.7%	
12	紺屋町	419 人	416 人	-3 人	99.3%	
13	中央通一丁目	360 人	356 人	-4 人	98.9%	
14	菜園一丁目	134 人	126 人	-8 人	94.0%	
15	中央通二丁目	627 人	618 人	-9 人	98.6%	
16	盛岡駅前通	818 人	809 人	-9 人	98.9%	
17	大通三丁目	631 人	616 人	-15 人	97.6%	
18	菜園二丁目	270 人	255 人	-15 人	94.4%	
19	開運橋通	622 人	605 人	-17 人	97.3%	
20	大沢川原三丁目	483 人	465 人	-18 人	96.3%	
21	南大通一丁目	609 人	572 人	-37 人	93.9%	
22	肴町	1,297 人	1,258 人	-39 人	97.0%	
23	八幡町	751 人	705 人	-46 人	93.9%	
(No.1~23) 合計		13,126 人	13,095 人	-31 人	99.8%	

令和6年度における中心市街地の居住人口（9月末時点）は、13,095人（基準値比100.4%、56人増）となっており、目標値（13,100人）を超えなかった。

また令和5年度と比較したところ、対前年比99.8%（31人減）にとどまった。

しかし、中ノ橋通一丁目では、前年比85人（114.7%）の人口増となっており、このほか、盛岡駅前北通では前年比25人（102.1%）、中央通三丁目では前年比22人（101.5%）の人口増となっている。人口増の要因の一つとして、当該地点におけるマンション等の建築が考えられる。

一方、23の観測エリアのうち、約6割に当たる14エリアで居住人口が減少しており、特に、八幡町では前年比46人（93.9%）肴町では前年比39人（97.0%）、南大通一丁目では前年比37人（93.9%）の減少となっている。

近年、人口の自然増減において、死亡者数が出生数を上回っていることにより自然減の傾向が強まっている。一方で、人口の社会増減に関しては、「県外市外または市内中心市街地エリア外から中心市街地エリア内への転居」が、「中心市街地エリア内からエリア外への転居」の流れを上回っており、社会増の傾向が見られる。暮らしや便利さを支える拠点機能・住環境の充実・商店街等の魅力向上を引き続き推進し、人口の社会増を促進する必要がある。

3. 中心市街地の地価について

目標指標	基準値 (R4)	目標値 (R9)	現状値 (R6)	現状値の状況	今後の見通し
中心市街地の地価	174.3千円/㎡	185.0千円/㎡	184.4千円/㎡	B	①

<基準値に対する現状>

A：目標値以上、B：基準値以上目標値未満、C：基準値未満

<今後の見通しの分類>

- ①目標達成可能であると見込まれる。
- ②目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③目標達成しているが、引き続き最大限努力していく。

(推移と分析)

公示地価（市内の公示地価）

エリア区分	No.	公示地価 標準地番号	住居表示	公示地価（円/㎡）		増減比 R6/R5
				R5 (R6. 3 月)	R6 (R7. 3 月)	
盛岡駅周辺 エリア	1	盛岡 5-2	盛岡駅前 8-17	281,000	298,000	106.0%
	2	盛岡 5-3	材木町 7-40	119,000	121,000	101.7%
	3	盛岡 5-14	開運橋通 1-34	198,000	203,000	102.5%
大通・菜園 エリア	4	盛岡 5-1	大通 2-3-5	283,000	291,000	102.8%
	5	盛岡 5-7	中央通 1-7-35	213,000	220,000	103.3%
	6	盛岡 5-10	中央通 3-12-5	139,000	142,000	102.2%
河南エリア	7	盛岡 5-12	肴町 4-4	116,000	119,000	102.6%
	8	盛岡 5-5	中ノ橋通 1-5-16	188,000	191,000	101.6%
	9	盛岡 5-8	八幡町 4-18	75,000	75,000	100.0%
平 均				179,111	184,444	102.9%

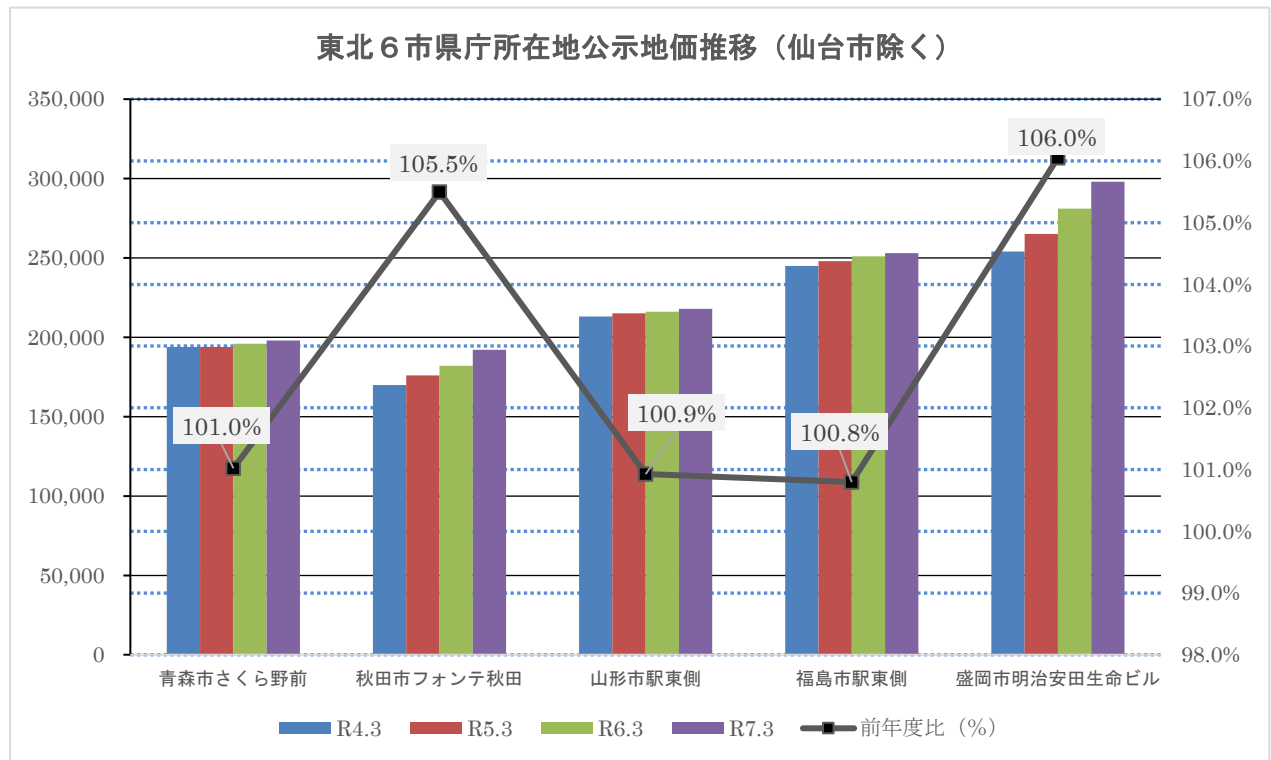
東北の県庁所在地6市の駅前と官公庁街の令和4年度から令和6年度までの公示地価の推移をみると、各市の駅前は軒並み公示地価が上昇しているが、各市の比較において、盛岡駅前（明治安田生命盛岡駅前ビル）は、6市の中で1位の上昇率であった。

コロナ禍後の人流回復を受けた店舗需要の回復や、物価高騰による各種取引価格の上昇といった各市共通の要因のほか、ニューヨークタイムズ紙に取り上げられたことが代表するように、魅力あるまちとして評価されたことのほか、インバウンド需要などを見越した県外からの投資の増加も要因であると考えられる。

全エリア平均の公示地価は、184.4千円となっており、プランの目標値に向け順調に上昇しているが、目標の達成に向けて空き店舗解消等の対策を講じ、盛岡の中心市街地全体の魅力を向上させるような取組を推進していく必要がある。

【参考】

公示地価（東北六市駅前の公示地価）



公示地価（仙台市）

市町村	公示地点	R4. 3	R5. 3	R6. 3	R7. 3	R7-R6 比
仙台市	仙台青葉 5-1 (仙台ロフト周辺)	4, 280, 000	4, 380, 000	4, 580, 000	4, 750, 000	103. 7%

IV. 全体総括

1. 実施事業について

令和6年度においては「第1期プラン」からの継続事業も含めた全82事業のうち71事業を実施した。（6事業は完了・終了し、5事業は検討中。）

全体で見ると、計画どおりに進捗している事業が多いことから、今後も評価指標の目標値達成に向けて、プラン掲載事業を着実に推進していく。

一方で物価高騰による市内経済への影響が長期化していることから、令和7年度以降においても、事業実施に要する財源の確保に努めながら、中心市街地の活性化に資する新たな取組を検討し、住みやすく賑わいのある中心市街地の形成に取り組んでいく必要がある。

なお、検討事業については、事業実施に要する財源の確保を図り、関係機関と連携しながら事業実施を推進していく必要がある。

（参考）令和6年度事業進捗状況一覧

（令和7年3月末時点）

事業形態	事業数	完了・終了	実施事業			検討事業	
			計画通り実施	概ね計画通り実施	計画通りに進捗していない	未着手 （実施期間中）	実施期間前
			A	B	C	D	E
ソフト事業	66	4 (6.1%)	43 (65.2%)	14 (21.2%)	3 (4.5%)	2 (3.0%)	0 (0.0%)
施設整備事業	15	2 (13.3%)	2 (13.3%)	6 (40.0%)	3 (20.0%)	1 (6.7%)	1 (6.7%)
ソフト事業・施設整備事業	1	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
計	82	6 (7.3%)	45 (54.9%)	20 (24.4%)	6 (7.3%)	3 (3.7%)	2 (2.4%)

2. 指標について

上記事業を実施したことで、設定している3つの指標のうち、中心市街地の居住人口及び地価については目標値に近づいており、引き続きプラン掲載事業を推進していくことで目標値への到達が可能であると見込まれるが、中心市街地の通行量については、減少傾向にあり、減少理由の分析や通行量を増加させるための検討を引き続き行い、中心市街地や市内経済の活性化に資する取組につなげていく必要がある。

3. 令和6年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

令和6年度は、第2期「中心市街地活性化つながるまちづくりプラン」の2年目として82事業を実施。ソフト事業は全66事業のうち64事業を実施し、未着手は2事業、施設整備事業は全16事業のうち15事業を実施し、未着手は1事業と全体をとおして多くの事業が進められた。

今後は、各事業について、中心市街地活性化の観点から、効果を検証し、必要に応じてスクラップ&ビルドも検討しながら、より効果的な事業推進を図っていただきたい。上記を踏まえ、また下記の点に留意の上、関係機関とも連携を図りながら、着実に事業を進めていただきたい。

- ①盛岡駅から大通り周辺にかけて通行量が減少していることについては、その原因を特定し、具体的な対策につなげていただきたい。
- ②中心市街地の区域については、中心市街地の活力の維持・活性化を図る観点で、新たな区域の追加を含め、検討していただきたい。
- ③盛岡市が掲げる「歩いて楽しむまち」は非常に有意義な取組であり、今後も歩行者や自転車が安全に移動できる歩道整備を推進していただきたい。また、治安の良さも盛岡の良いところなので、大通りの客引きの多さやゴミの散乱など、治安や美観に関する課題にも積極的に対応していただきたい。
- ④AIによる通行量データと現場の実感が違うので、データの精査を行うとともに、中心市街地内でもエリアごとに課題が異なることから、地域の実情に即した細分化された分析と、それに基づく支援を進めていただきたい。
- ⑤人流・交通解析システム事業については、関係機関の負担の在り方も含め、効率的・効果的な運用ができるよう、検討・調整を進めていただきたい。